

令和7年度 市民意識調査の結果 概要版

調査目的および実施概要

(1) 調査の目的

仙北市を幸福度全国ナンバー1とするため、市民の日常生活と意識・行動を明らかにし、その結果を施策立案の基礎資料や、施策展開のための客観的データとして活用することを目的としています。

(2) 調査の内容

1. 幸福度
2. 地域への愛着やあるべきまちの姿
3. 普段の活動や暮らし
4. 市の施策への満足度・重要度

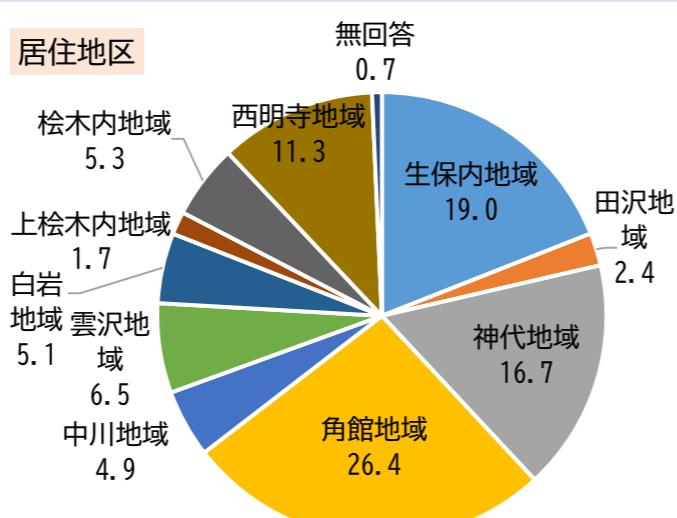
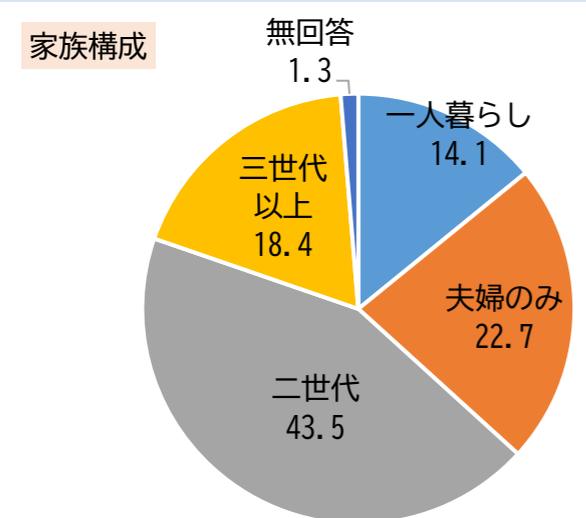
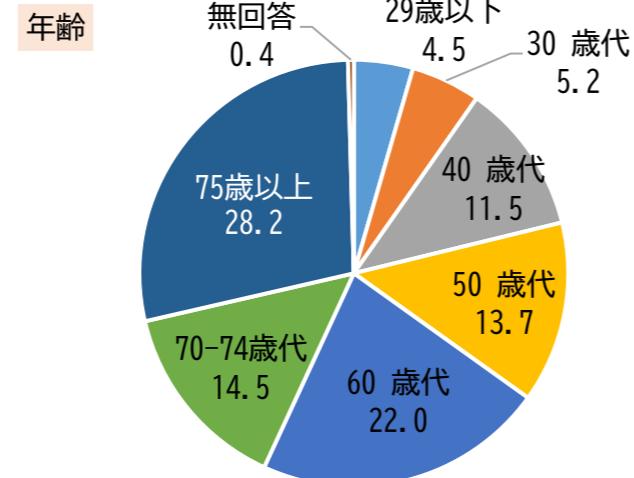
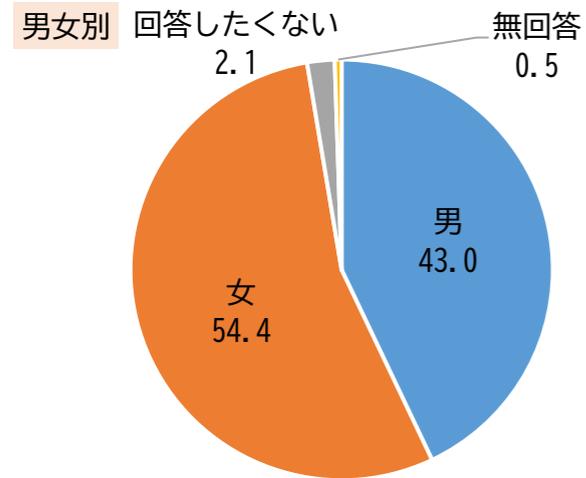
(3) 調査の設計

1. 調査対象：令和7年4月3日現在で市内に居住する満18歳以上の男女個人
2. 標本数：3,000人
3. 抽出方法：18歳以上の各年代別の地区別人口の構成比に応じて無作為抽出
4. 調査方法：郵送による調査票の配布、郵送及びインターネットによる回答
5. 調査期間：令和7年5月2日(金)～5月20日(火)

(4) 回収結果

1. 有効回答数：1,143人（有効回答率38.1%）

回答者について



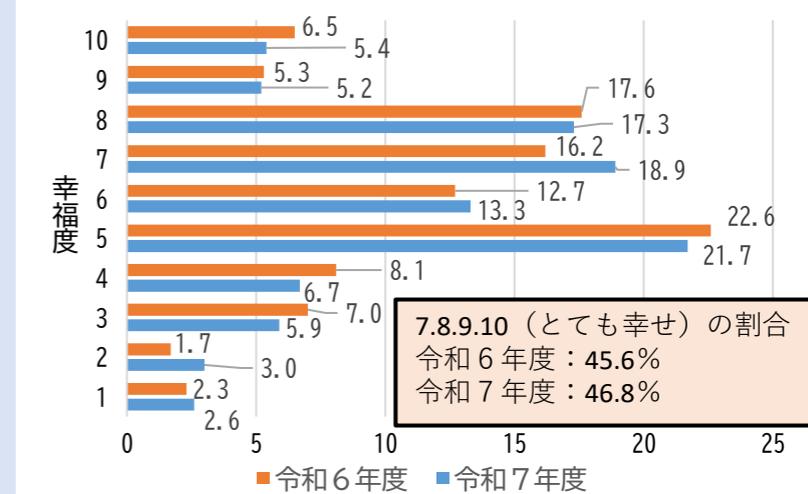
幸福度について

◆幸福度（1～10段階評価）について

「とても不幸」を1点、「とても幸せ」を10点として、現在どの程度幸せであるかをお伺いしたところ、不幸でも幸福でもない中間の「5」を回答した方が多い結果となっています。

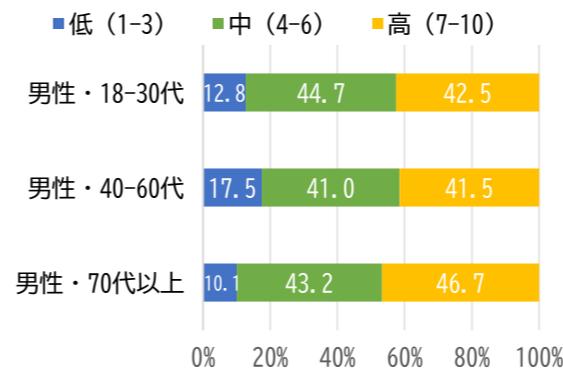
また、幸福度（1～10段階評価）の「1～3」を幸福度「低」、「4～6」を幸福度「中」、「7～10」を幸福度「高」と分類し、幸福度を性別と年代別でみると、昨年度と比較し男性の幸福度は上昇しているのに対し、女性の幸福度は低下しましたが、女性の方が幸福度において全体的に高い傾向となりました。

令和7年度と令和6年度幸福度比較表

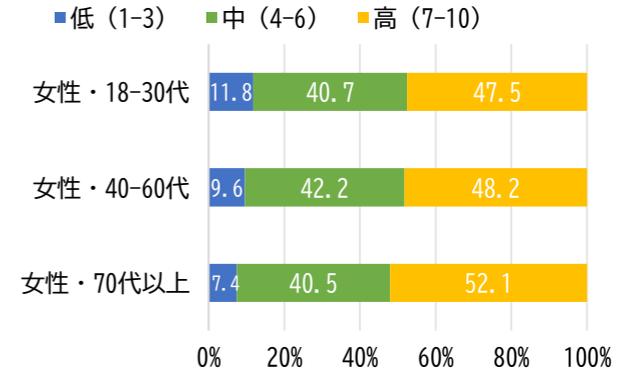


7.8.9.10（とても幸せ）の割合
令和6年度：45.6%
令和7年度：46.8%

年代別・性別（男性）の幸福度



年代別・性別（女性）の幸福度



幸福度と7つの項目の関係

(1) やりたいこと（趣味・学び・活動・仕事等）がある

(7) 自分の居場所や役割がある（家庭・地域・職場等）

(6) 頼れる人（家族・友人・地域の人等）がいる

(5) 自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる

(2) やりたいことに向けてチャレンジ（準備・実行等）している

(3) 日々の暮らしで生きがいを感じている

(4) 暮らしの中で、健康になれるよう努力をしている

●全体 ●低 (1-3) ●中 (4-6) ●高 (7-10)

◆7つの項目と幸福度の関係

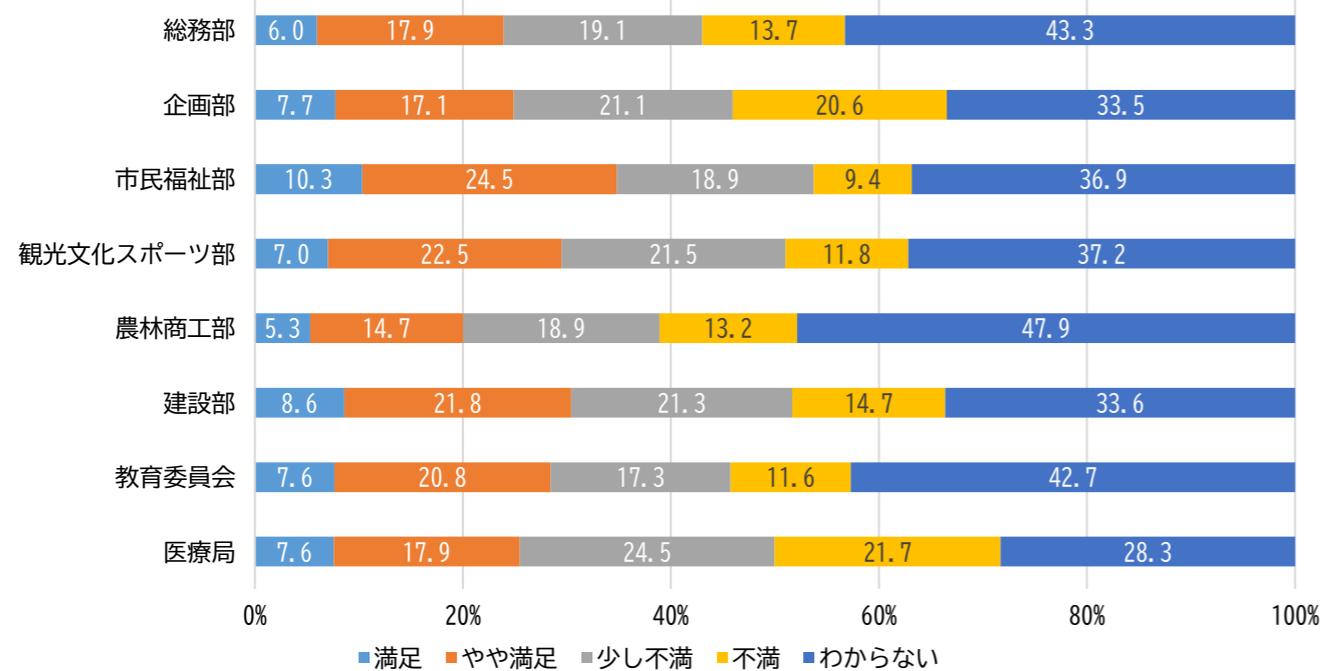
幸福感につながる7つの項目について分析したところ、7つの項目の数値が高いほど幸福度が高いという傾向がわかります。

令和7年度 市民意識調査の結果 概要版

施策の満足度と重要度

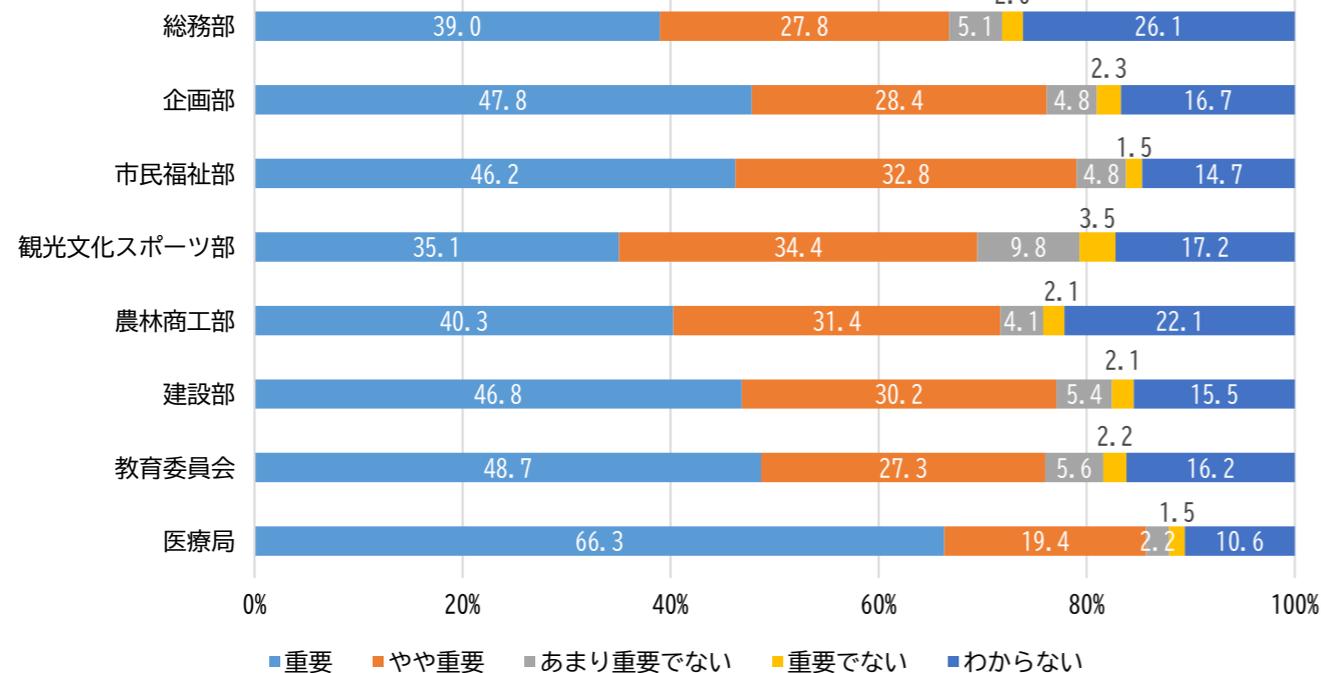
第2次仙北市総合計画(改訂版)で定めた施策に対して現在の満足度と今後の重要度をお伺いし、8つの部局にまとめて集計分析しました。

施策の満足度



「市民福祉部」、「観光文化スポーツ部」、「建設部」、「教育委員会」の施策の満足度は高い結果となりました。また、「総務部」、「農林商工部」、「教育委員会」の施策については「わからない」という回答が多い結果となりました。

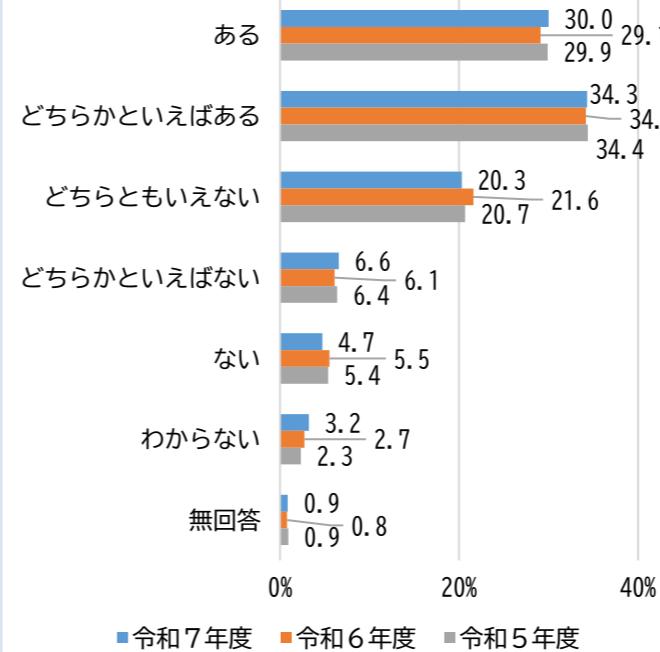
施策の重要度



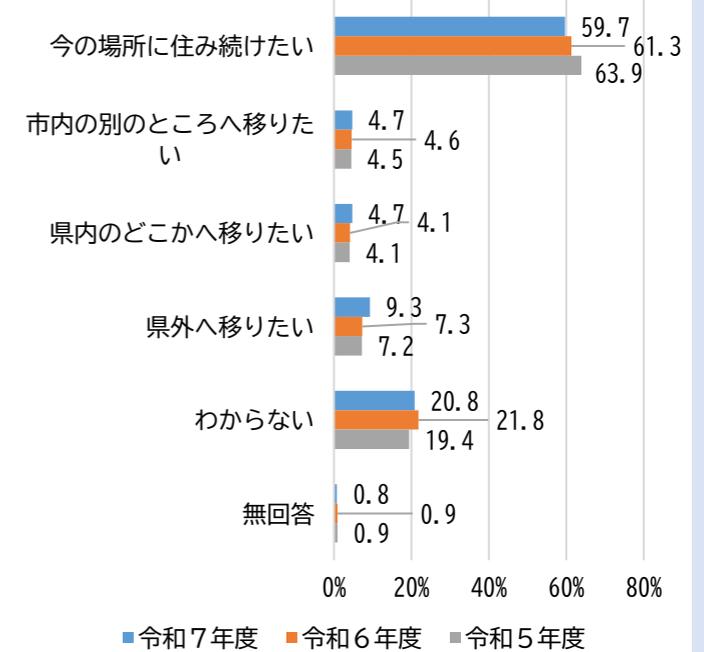
施策の重要度は、市民生活に直結している施策が高い傾向にあり、特に医療分野の突出した高さが目立つ結果となりました。

住んでいる地域への愛着など

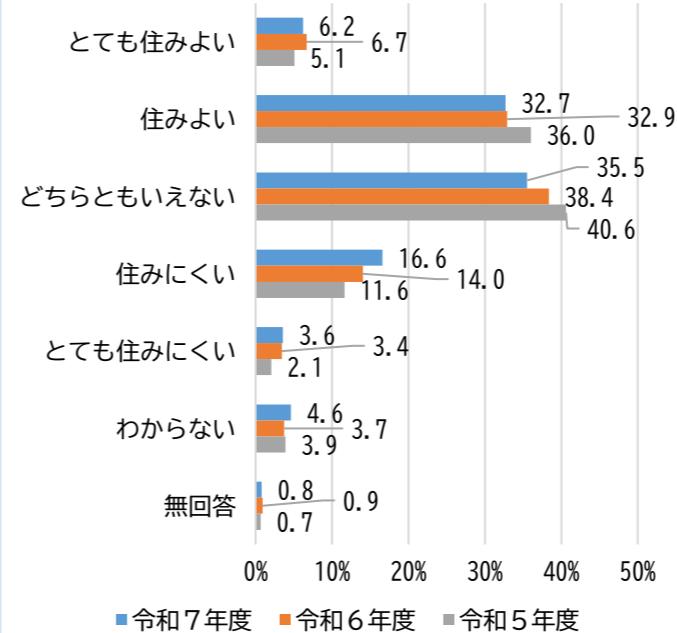
住んでいる地域への愛着がありますか



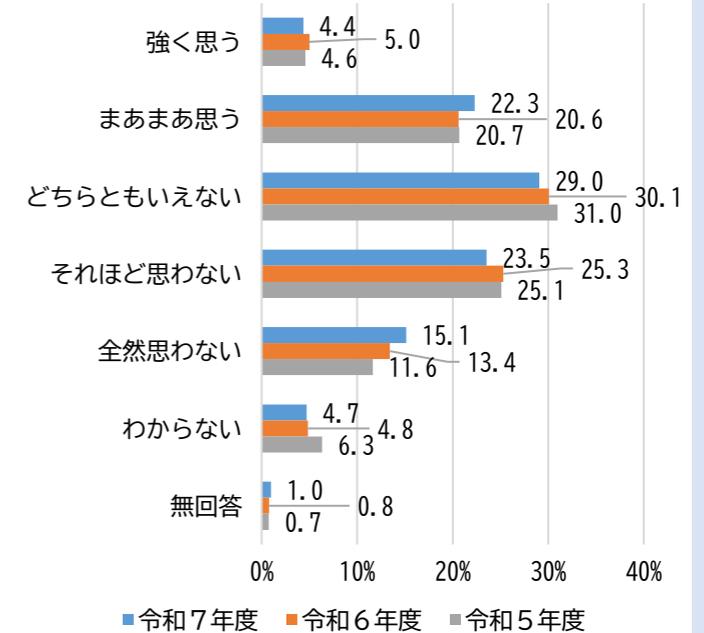
これからも仙北市に住み続けたいと思いますか



仙北市の住みやすさについてどう思いますか



自分の家族や友人に仙北市への移住・定住を勧めたいと思いますか



「住んでいる地域への愛着」、「これからも住み続けたいか」、「住みやすさ」、「移住定住を勧めたいか」という4つのすべての質問について、多少の上下はありますが、ほぼ横ばいの結果となっています。